

仕様書

第1条 総則

本特記仕様書は、「長崎県地震アセスメント予備調査業務」（以下「本業務」という）に適用する。

第2条 管理技術者

管理技術者は、技術士(部門：応用理学、分野：地球物理及び地球化学)の資格を有し、同種又は類似の業務実績を保有する技術者を配置するものとする。

第3条 照査技術者

照査技術者は、管理技術者と同等以上の資格かつ多くの GIS データを活用した上で検討を行うため、地理空間情報に高度な知識を求められることから、GIS 上級技術者または空間情報総括監理技術者の資格を有し、同種又は類似の業務実績を保有する技術者を配置するものとする。尚、照査技術者は、管理技術者及び担当技術者との兼務は認めないものとする。

第4条 業務内容

1. 業務内容

1)概 要

本業務は、対馬・壱岐・五島付近の活断層について簡便法による調査を行い、地震や津波による被害を明らかにしたうえで、今後実施予定の詳細調査における基礎資料として取りまとめることを目的として実施するものである。

2)調査検討項目及び内容

2.1 計画準備

本業務の円滑な進行のため、業務内容を十分把握し、問題のないように作業項目を計画立案した実施計画書を作成し、それに基づいて県と協議し、了解を得て、作業実施の体制を整えること。

2.2 地震動想定(距離減衰)

対象とする地震は、別紙1の日本海西部の海域活断層(西部)の9断層とし、震源モデル(断層位置、深さ、マグニチュード等)をもとに、既往の研究等による地震の揺れの強さと震源からの距離との関係を表した距離減衰式および地盤の増幅度に基づく簡便法を用いることで、9断層の地表震度分布を算出すること。

2.3 津波浸水想定

2.2 同様、対象とする地震は、別紙1の日本海西部の海域活断層(西部)の9断層とし、津波波源モデルおよび海岸構造物等を含む地形データの収集・整理を行い、地形モデル・津波波源モデルを構築した上で、津波のシミュレーションを実施し、津波の高さおよび浸水分布の算出を行うこと。なお、津波浸水想定におけるメッシュサイズは沿岸部において50mとする。

2.4 調査報告書作成

検討成果を取りまとめ、成果品として以下のものを作成、納品すること。

報告書 (A4 版)	1 部
報告書概要版	1 部
本検討に用いた資料	1 式
CD-R	1 式

2.5 打合せ・協議

業務を円滑に実施するために、本業務の打合せ・協議は業務着手時、中間打合せ1回、成果品納入時等を含めて計3回程度実施すること。なお、業務着手時及び成果品納入時は、管理技術者が立ち会うものとする。

第5条 業務期間

本業務の業務期間は、契約締結の日から令和6年11月29日までとする。

第6条 再委託の禁止

本業務の全部を一括して第三者に再委託することは認めない。

第7条 成果品の帰属

本業務の成果品は全て県に帰属するものとし、許可なく公表、貸与、使用してはならない。また、業務中に知り得た事項を他に漏らしてはならない。

第8条 業務終了後の協力

業務終了後においても、内容や成果品について照会があった場合又は、第三者への技術的説明の依頼があった場合には、これに協力するものとする。

【別紙 1】



【対象断層】

- ①白島沖断層帯 ②沖ノ島近海断層 ③小呂島近海断層帯
- ④対馬東水道断層 ⑤対馬北方沖断層 ⑥対馬上県西方沖断層
- ⑦対馬南方沖断層 ⑧七里ヶ曾根断層 ⑨第1五島堆断層帯